

第 33 回 京都総会 ～今回も新会員が参加～

第 33 回新京桜木小学校同窓会は、昨年 11 月 5 日、関西支部の担当で京都市「エキシブ京都八瀬離宮」で開催しました。

参加者は会員 60 名、同伴者等 12 名の計 72 名でした。今年もホームページで見たと、12 期の清田満喜子（旧姓田中）さんと弟の 14 期田中進一さんが入会、清田さんが参加しました。



午後 5 時、会場のコンベンションホールで記念写真の撮影のあと、5 時半から関西支部・桜井秀郎幹事（10 期）（写真左）の司会で開会しました。



はじめに今は亡き恩師、同窓生を偲び黙祷、続いて出席者全員で校歌を斉唱しました。

あいさつに立った黒岩武会長（8 期）（同左）は、「今年も元気で皆さんにお会いできて嬉しい」と述べました。

続いて、森かよ子関西支部幹事長（8 期）からは総会の運行についての説明がありました。

この後 5 時 45 分から 30 分間、二胡と楊琴の演奏が日本の曲も交えて披露されました。



（平成 28 年 6 月 30 日現在 会員数）

	師	1 期	2 期	3 期	4 期	5 期	6 期	7 期	8 期	9 期	10 期	11 期	12 期	13 期	14 期	15 期	計	賛助
男	7	2	1	14	28	21	20	32	27	46	26	25	34	22	20	7	332	8
女	10	12	11	17	18	31	37	37	32	49	44	29	32	21	13	12	405	7
海外			1	2	0	0	1	2	1	2	1	4	2	0	1	0	17	0
計	17	14	13	33	46	52	58	71	60	97	71	58	68	43	34	19	754	15

（平成 27 年 6 月 30 日現在との比較）

増減	-1	-3	-2	0	-7	-6	-7	-6	-8	-4	-2	-4	-3	-5	0	-4	-62	-1
----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	-----	----

齋藤欣一前会長、逝去

桜木会第 3 代会長の齋藤欣一顧問（6 期）が、4 月 9 日逝去されました。

ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

齋藤顧問は、体調不良を訴えられ、昨年 5 月に退会を申し出ていました。その後、入院加療中でしたが、この 4 月に永眠されました。

齋藤顧問は 2008 年 5 月、第 2 代会長の吉津 成（3 期）氏の辞任の後、長らく空席となっていた会長を、今後は会長を関東支部長が務めることが合同幹事会で決まり就任、3 年間務めました。



懇親会は、桜井幹事と 10 期の上村保子幹事の司会で、まず、開宴にあたって内布康二関西支部長（11 期）（同左）があいさつ、乾杯の音頭は、今年も御夫婦で参加の浦野友行（4 期）（同下）さんでした。

懇親会は、8 つのテーブルそれぞれで話も弾み、他のテーブルに移動したりと、賑やかな 2 時間もあっという間に過ぎました。

締めには全員で「ふるさと」を歌った後、次回の主催者、中原巨二九州支部長（11 期）があいさつをして散会しました。



バスツアーは 京都観光

翌 11 月 6 日は 41 名が参加しての京都観光のバスツアーで、世界遺産、宇治の平等院鳳凰堂めぐりとして、京都八瀬離宮、土井の志ば漬本店、平等院、喜撰茶屋を回り、宇治神社などを散策しました。

新京桜木小学校開校 80 周年、桜木会も 40 周年に ！

開校 80 周年、桜木会 40 周年に当たり、当初から桜木会の運営に携わってきた黒岩武会長に聞いた。

新京桜木小学校は、今年 1 月 17 日、開校 80 周年を迎えた。

新京桜木尋常小学校は、前年に開校した新京白菊尋常小学校から分かれ、昭和 11 年(1936) 1 月 17 日に開校した。昭和 10 年度は残り 2 か月余りであったので、昭和 11 年度の卒業生を 1 期生と数えることになった。以下、終戦時の国民学校初等科 1 年生が 15 期生となった。

一方、新京桜木小学校同窓会（以下、桜木会）も来年 2 月で発足 40 周年になる。他の新京の小学校同窓会がすべて解散してしまった中で、なお存続していることは素晴らしいことである。

桜木小卒業生中心に消息収集

戦後もほどなく、終戦時の旧制中学 1～3 年生(7～9 期生)が中心となって同窓生の消息をを調べていた。

同時に各学年で同窓会も開いており、8 期生は新聞(右:昭和 49 年(1974)4 月 15 日付)で呼び掛けたりするなど、ある程度の名簿ができており、全校で 300 名ほどには連絡が取れる状態になっていた。

▽旧満州・新京桜木国民学校
昭和十九年卒業生。21日午後1時、地下鉄銀座線京橋駅下車「京橋会館」。会費男三千円。女二千五百円。(豊島区雑司が谷一ノ六ノ七、神戸憲子1171 三四八五、午後七時以降)

戦後 22 年 桜木会開催

こうした状況下で、各学年の同窓会幹事有志が集い、40 年前の昭和 51 年(1976 年)11 月の準備会で翌 52 年(1977)に第 1 回の桜木会総会の開催を決めた。と同時に私は独断で東條会館の予約を 2 月 6 日に取り、桜木会々長には、開校時の初代校長、大内吉太郎氏をお願いした。

総会の案内状は往復はがきの手書きで発送、同時に自費 80 万円で朝日新聞に告知広告を出した。広告を出すや次々に問い合わせの電話があった。戦後も 30 年を超え、皆が再会を待っていたのであろう。↑

消
息

2016.6.30
現在

<新会員>

	氏名	旧姓	〒	住所	電話
12期	清田満喜子	田中			
14期	田中進一				

<住所/表示変更>

6期	南郷みどり				
7期	原義子	細川			
9期	丹純子	牧野小花			
12期	田所正章				
13期	香山寿夫				

<物故者>

氏名	旧姓	去世	氏名	旧姓	去世	氏名	旧姓	去世
師 小川美喜子			5期 竹田和夫			9期 松川幹典		
1期 斉藤道正		平27. 1. 15	5期 増田好彦		平27. 12. 25	9期 平峰唯光		平18
1期 中野寛		平27. 3. 15	5期 宗像学		平28. 3. 10	10期 中澤桂		平28. 2. 10
2期 横山映子			5期 須田利信		平22	11期 藤岡貞子	武部	平26. 9
4期 中原愧		平24. 10. 1	6期 小宮一晃		平26.	11期 野村健也		平27. 6. 15
4期 尾崎三男		平28. 1. 14	6期 齋藤欣一		平28. 4. 9	12期 峰岸長男		平27. 1
4期 小野祐一			7期 小野英一		平27. 12	13期 菅原宗人		平27. 12
5期 田畑淑	中村		8期 紅谷清三		平28. 1. 22	13期 斉藤芳枝	長竹	平28. 3. 23
			8期 藤村光恵	栗野	平28. 4. 20	13期 曾和昌子	野田	平28. 2. 3
						15期 武岡茂生		平25. 5. 8

<退 会>

氏名	旧姓	4期 白木千鶴	下川	7期 関勝正		10期 木山靖子	半田	13期 小川昌子	藤田
1期 岸良明		6期 金井静子	鯨坂	7期 佐藤光子	相良	11期 中島勝		13期 堅谷敦子	田上
2期 木田智恵子		6期 小舘正実		7期 田川和江	小林	12期 楠本サワ子	堀	15期 平山礼子	末政
4期 宮城千鶴子	加藤	6期 長沼壮		8期 伊藤智子	桜井	12期 松島斉		15期 佐藤恭子	池田
						12期 栗野淳一		15期 岡崎俊一	

<転居先不明>

氏名	旧姓	5期 成沢照子	蝦名	7期 寺田憲二		8期 山本菊江	井本	14期 天道襄治	
4期 熊代由起子		6期 米谷武敏		8期 田中暁子		9期 岩井慶子	稲木	14期 滝口武	
4期 御厨維秋		6期 小林郁子	芦田	8期 中村桂子	飯島	9期 山下尊子		賛 鱈部千代子	
4期 金子十智子	岩村	6期 岡田桂子	尾谷	8期 南淳子		11期 藤吉浩美	岡崎		

結果、東條会館には、教師 7 名、同窓生 137 名が参加した。

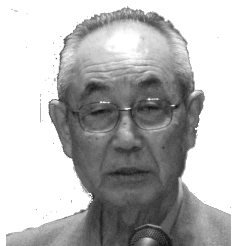
桜木会総会は、翌年第 2 回を開いたが、それ以降、第 8 回までは隔年開催だった。中でも昭和 61 年(1986)の第 6 回は、神宮外苑の日本青年館で開催されたが、母校開校 50 周年ということもあって、教師 25 名、同窓生 297 名と、後にも先にも最大の参加者数を記録している。

また開催場所は東京だけでなく、関西と九州でも開き、温泉・グルメブームもあって平成 2 年(1990)第 8 回からは毎年の開催となって今日に至っている。平成 17 年(2005)からは東海地区も加わった。

半沢太福氏 事務局長 30 年

桜木会 40 年の歴史の中で準備段階から平成 19 年(2007)まで 30 年以上にわたって事務局を担った 10 期の故半沢太福氏のご苦勞は大変なものであった。

半沢氏の父は、かつて昭和 13 年に開学した国立の建国大学教授で、満州の学校事情に詳しく、母も学校関係に携わっていた。



そんな事情もあってか半沢氏は、桜木だけでなく他の小学校の同窓会にも顔を出して全新京の小学校同窓会を考えてもいたが、長春会との調整がつかず果たせなかった。

半沢氏は、学校だけでなく、糸を手繰るようにして個人から個人へと会員を増やす努力をし、それゆえ多くの個々の会員について誰と誰は兄弟だとか、誰の住まいはどこで、その隣は・・・、などと何事もメモを見ることなく覚えていた。こうしたことから半沢氏自身の情報網が出来上がり、同窓生の発掘が行われていたのである。

半沢氏が各支部と連絡を取り合ったのはもちろん、常に会員の消息を追って会員を増やし、平成 17 年(2005)には、海外も含め 1,200 名を超えるまでになっていた。

総会の案内状のあて名書きはすべて手書きで、奥様の手も借りて続けられていた。半沢氏の会員の獲得から総会の運営まで桜木会を確固たるものにした功績は真に大である。

氏は平成 18 年(2006)11 月の開校 70 周年、第 24 回桜木会総会を機に事務局長を辞任、平成 20 年(2008)9 月 29 日、75 歳で亡くなった。

平成 27 年度分の年会費を納めてくださった 247 名の皆さんです。(敬称略、順不同)

(師) 諏訪敏子 高瀬千代子 滝本節子 羽田恭子 (1期) 岸良明 浦精 水野好子 (2期) 伊藤貞子 長田京子 川田由美子 (3期) 川口哲夫 佐々木嘉郎 田中和雄 石崎昭子 服部和子 (4期) 安良城勝也 浦野友行 黒田涵兵衛 山内誠示 渡部昭一郎 白木千鶴 本間孝子 宮城千鶴子 森丘和香子 盛本昱子	(5期) 小笠原恒信 小形喜代志 岡田博吉 筒井昭 増田好彦 岡部春海 桂禮代 小谷良子 斉藤淳子 塩見文恵 杉山方子 高橋千代子 武田雅子 西田房子 (6期) 藤村繁 堀内光雄 堀口恭宣 向井徹 横澤昭 石川里子 上田美智子 奥西博子 新谷禎子 南郷みどり 樋口清子 平山澄子 福田洋子 牧野英子	丸山清子 武藤節子 村山美代子 安田淑子 柳本禮子 山田てる子 山本洋子 渡邊眞智子 (7期) 五十嵐宏三 遠藤英裕 小口久夫 勝田尚夫 高松不匱 鹿毛篤子 亀岡佳子 刈谷志津 佐藤侑子 関口和子 田中和枝 武谷潤子 遠矢千鶴子 原義子 太布サチ (8期) 阿久津武雄 小原敏 黒岩武 古瀬亨 小林修	佐藤道男 高橋徹朗 長沼孝雄 濱堯夫 堀秀一 松島緑郎 石原敦子 石森順子 神戸薫子 木村欣子 近藤照子 桜田佐久子 椎木惇子 高橋玲子 戸崎紀久子 新枝幸枝 野中良子 馬場洋子 森かよ子 矢崎水尾 (9期) 池上賢 今里嘉夫 齋藤博 滝口一志 利光久輝 鳥谷惇 羽賀道信 橋本修二 福田芳仁	前田晃一 池上とし子 片山敏子 近藤洋子 瀬戸山良子 竹田イサ子 丹純子 西川幸子 根津和子 萩原光子 森川マリ 山崎真子 山田晶子 (10期) 植木英一 緒方信一郎 小野登茂衛 桜井秀郎 日比哲郎 平井丈夫 有吉翠 桶山弘子 上村保子 河尻斐子 菊地公子 小林陽子 田上久子 土屋ゆかり 戸川田美子 中島敏子	仁科京子 福島仁子 藤村眞示 星川正子 堀川マツ子 三村善美 水鳥桂子 溝口決子 吉田弘子 (11期) 相京博士 浅川幹雄 熱海静雄 飯吉光夫 内布康二 小名木久夫 北島米和 河野信博 佐藤義男 品川次郎 高尾邦孝 中島勝 中原巨二 堀口武 堀越一男 松岡将 渡辺順一 江口洋子 緒方滯子 加藤岡八千代	北野玲子 解良照子 澤井恭子 園田弘子 田中慶子 高柳多津子 野村さゆり 藤原聖子 古屋恭子 村上百合子 山下朗子 渡辺幹子 (12期) 川北昌弘 木塚昭則 下條貞正 滝川尚二 滝口敏行 武田邦彦 藤塚立夫 横山恒雄 安達美和子 伊藤泰子 加藤瑠璃子 檜本伸子 喜々津多栄子 清田満喜子 熊原敏栄 高橋康子 永江末加岐	前田暢子 米長ハル子 (13期) 岡田哲也 久芳繁 栗田達雄 佐々木慧 佐々木正教 酒井希久朗 新谷治 松本正 山中章伍 明石奈保子 伊吹万里 近江環 岡本弘美 加藤蓉子 澁谷恭子 谷川和子 (14期) 杉田佳夫 滝口武 棚瀬幸雄 田中進一 平野熙幸 村上満男 岩瀬立子 武内充子 原田恭子	坂東義子 森和子 横山宏子 吉井薫子 (15期) 大塚至誠 坂田信之 木村厚子 酒瀬川千恵子 高田佐衣子 高村珂珠子 南好子 森静子 (賛助) 井田哲夫 大河原貞亮 岡本公明 武多努 奈良満雄 北川フミ 菅沼一美 本多康子 高橋うらら 藤井登茂子
--	--	---	--	---	---	---	---	--

第 3 3 回 京 都 総 会 収 支 報 告 書

実施：平成 27 年 1 月 5 日、6 日 会場：エクシブ京都八瀬離宮

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	金額(円)	摘 要	項 目	金額(円)	摘 要
総会費 (内訳) 宿泊者 宿泊者 同伴者宿泊者 日帰者	1,640,000 1,320,000 20,000 216,000 84,000	22,000×60 20,000×1 18,000×12 14,000×6	総会費 (内訳) 宿泊・懇親会費 写真代 キャンセル払戻金 振込手数料	1,546,951 1,270,631 111,888 164,000 432	74名 宿泊64名, 日帰8名, 他2名 宿泊9名, 日帰に変更3名等
観光費 (内訳) 参加費	308,000 308,000	7,000×44	観光費 (内訳) バス代他 昼食代 キャンセル払戻金	296,588 141,118 134,470 21,000	41名 ガイド料、入場料、駐車料他 7,000×3
			剰余金(本部会計へ)	104,461	
小計①	1,948,000			1,948,000	
本部負担金	349,799		総会費 (内訳) 会場看板代他 為替払込手数料他 印刷費 発送費	159,377 104,000 55,377 70,742 119,680	うち余興費用 50,000 封筒、案内書、しおり等 郵送料、発送作業部屋代等
小計②	349,799			349,799	
年会費	482,000	2,000×241	本部会計繰入	482,000	
小計③	482,000			482,000	
合計	2,779,799			2,779,799	

平成 27 年度決算報告書 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

① 本 部

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	金額(円)	摘 要	項 目	金額(円)	摘 要
前期繰越金	633,795		支部活動費	197,600	@49,400×4支部
年会費	498,000	@2,000×249	総会費	349,799	本部負担分
総会剰余金	104,461		印刷費	20,437	会誌「さくらぎ」印刷
寄付金	18,000		会議費、通信費等	11,002	
受取利息	265		次期繰越金	675,683	
合 計	1,254,521		合 計	1,254,521	

② 関 東 支 部

前期繰越金	416,891		幹事会費	29,260	2回
支部活動費	49,400	27年度分	懇親会費	233,600	6/1
懇親会費	195,000	@6,500×30	通信費	34,812	
合 計	661,291		次期繰越金	363,619	
			合 計	661,291	

③ 関 西 支 部

前期繰越金	140,169		幹事会	114,465	2回
支部活動費	49,400	27年度分	懇親会	78,326	9回
懇親会費	120,000	2回	通信事務費	16,006	
合 計	309,569		次期繰越金	100,772	
			合 計	309,569	

④ 九 州 支 部

前期繰越金	254,916		例会費	84,190	3回
支部活動費	49,400	27年度分	立替費戻入	10,623	
例会費	80,000	個人負担3回	会議費・通信費	15,064	
受取利息	57		次期繰越金	274,496	
合 計	384,373		合 計	384,373	

⑤ 中 部 支 部

前期繰越金	437,453		次期繰越金	486,961	
支部活動費	49,400	27年度分			
受取利息	108				
合 計	486,961		合 計	486,961	